



日本一早く  
収穫する梨は、  
うまいよ!!

明治の開拓期から西山台地で農業を営んできた。子どもの頃から農作業を手伝い、家ではスイカ、ナス、トマト、ボンカンといろいろ作ってきた。そして今、浜田幸一が手がけているのは、トマトと梨。

「7月20日頃から収穫する梨は、日本一早い梨。梨は、新水、幸水、豊水と種類を変えて、8月いっぱい採れる」

もぎたてをナイフで器用に切り分けていただければ、まさに甘露。

「早いだけでなく味も日本一ですね!」思わず叫んだのは正直な感想。名人のもうひとつの自信作は、「ルネッサンス」種のトマト。こちらもかぶりつくと、しっかり身が詰まって味わい深い。

「夏なら朝は6時に起きて梨をちぎり、菜市や農協に出荷する。昼を食べたら3時頃まで寝て、6時頃まで作業をする」。お手本にしたいような健康生活と思いきや、数年前にはウィルスを持ったダニに刺されて入院。幸い室戸の病院に専門医がいて、九死に一生を得た。「60歳を過ぎて抵抗力が落ちた」と言うが、背筋がピンと伸びた立ち姿はととても若々しい。そして素敵な笑顔。

一年中、休みはあってないようなものだが、合間に4人の孫の顔を見るのが楽しみと語る。

「うちの梨はうまいし、毎日食べる」それなら、梨が好物にちがいないと尋ねれば、「いや、一番好きなのはぶどうだな」。なんと、くだもの王国高知で桃とぶどうだけは作れないんだ、ハハハ。

トマト・梨農家  
浜田幸一

室戸じと、  
進む。